

男女共同参画シンポジウム開催



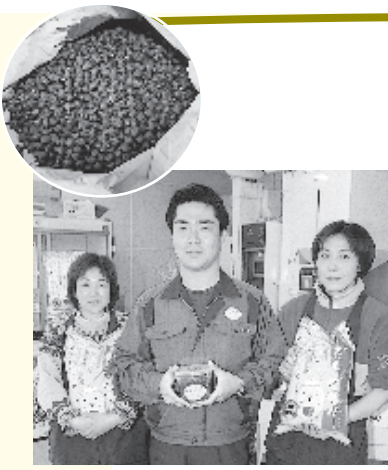
活発な意見交換されました

二月二十三日(土) 健康いきいきセンターで約百人が参加し、男女共同参画シンポジウムが開催されました。

このシンポジウムは、女性も男性も自分の意思で社会に参画し、優しく支えあい、喜びも責任も分かち合う男女共同参画社会を目指し開催されたもので、兵庫大学教授 大村英子氏が「ジェンダー(社会的性差)はどうしてつくれるか」と題し、自分の経験を通じて分かりやすく講演されました。

続いて、パネルディスカッションが行われ、「男女共生社会の実現をめざして 行政・住民・企業・団体の役割」をテーマに、四人のパネラーが意見を発表し、参加者も交えて活発な意見交換が行われました。

播磨町特産「弥生みそ」が好評



原料の黒大豆(左上)とPRするJA職員

J A兵庫南播磨支部女性会の方々が、町内の農家十五件で栽培された約百kgの黒大豆を使用して、「弥生みそ」を作っています。

この「弥生みそ」は、町内で採れた減農薬の黒豆のみを使用しており、無添加で塩分控えめ。また、このみその中には同じ町内特産の米「そだちざかり」も原材料として使用されており、播磨町の特産がギッシリ。

買いに来られた方は「普通のみそと比べて、甘みがありおいしいです。食品に対して不信感がある今、作られた人の顔の見える商品は安心して食べられます」と好評でした。

まちづくりを考えるフォーラム

レポーター 藤本 真美さん

二月三日(日)、高砂市で二市二町のまちづくりを考えるフォーラムが開かれました。

基調講演では、橋凡子さんの介護体験に基づき、切実に感じさせてくれる話があり、次のパネルディスカッションでも、それぞれのパネリストの身近な話題であり、体験であったので参加者の賛同を得られたのではないでしょう

か。今回は高齢化という問題に焦点が絞られて、福祉への対応を考えるフォーラムであったようですが、福祉の問題は幅広いと思います。すべての住民の生活が幸せになるように考えていくことであると思います。

それは行政と、やはり住民自身ができることを考えて行動していただくことが大切だと思います。



パネリストからの貴重な体験談

平らで安全な住吉橋に

レポーター 山根 忠さん



交通事故がなくなるように...

住吉橋が太鼓橋だったため、橋の前後で交通事故が絶えず、地元自治会からの橋の架け替えの要望が出されていました。

兵庫県で今年度架け替え工事が予算化され、工事に入ることになりました。

改修の目的は、

- 一、太鼓橋を平らな橋に
- 一、川の増水にも対応できる
- 一、大中一見線の計画に合致

- 一、水管橋も撤去され、橋梁中に添架される。工事は
- 一、三月末までに下部橋台と護岸が完成。未完成予定。
- 一、このことから、両岸で一・五メートル下が
- り、見通しもよく安全な住吉橋となるようです。
- ふるさとの川、喜瀬川にふさわしい歩道付住吉橋に新調されます。

米づくりの体験作文コンクール 村上祐大くん、森本綾乃さんが受賞



満面の笑みの二人

「平成十三年度ひょうごっ子こめづくり作文コンクール」がこのほど行われ、播磨北小学校五年の村上祐大くん(古田)、森本綾乃さん(南大中)が東播磨県民局長賞に選ばれました。

二人は、ひょうごっ子こめづくり事業で体験した稲作の素晴らしさや、感動したことを率直に作文にしました。

森本 春市、末子夫妻 平成十三年度ひょうご健康夫婦大賞受賞



いつまでもお元気で

「元気」で「生き生き」と「自立した生活」を送っておられる長寿のご夫婦を表彰する「ひょうご健康夫婦大賞」を森本 春市(九十三歳)、末子(八十八歳)夫妻(大中)が受賞されました。

森本さん夫妻は、お互いに生きがいを持ち、人のために役立ち、旅行という趣味を共有しておられ、日々充実した毎日を過ごされています。

故藤原 初雄氏に勲五等瑞宝章

野添一丁目の故藤原初雄氏(七十六)にこのほど、自治功労として勲五等瑞宝章が授与されました。

藤原氏は、播磨町の収入役に五期二十年の永きにわたり就任し、地方自治の発展に貢献されました。

いきいき健康教室

レポーター 楠元 直美さん

平成十三年五月二十九日から十一月二十七日までの六カ月間、「いきいき健康教室」に参加しました。

保健婦・栄養士・運動指導員の方々と、平均年齢57.7歳の18人で、調理実習やアロマピクス、エアロピクスやいろいろなお話を聞いたりしました。

運動と食生活は健康な体の源となるものです。足は「第一の心臓」と言われるように、歩くことで良くなるそうです。また、人間にとって腕力とつまむ力というのは、自立した生活に欠かせません。握る力がつく

と、脳への血液の供給を良くし、栄養と酸素が脳によく届き、脳の働きを良くするらしいです。

お風呂の中で、グーパー、グーパーとするだけで、握力がつくそうですので、皆さんも実行してみたいかがです。

「いきいき教室」の参加者の平均体力年齢は、開始時52.9歳から終了時には48.7歳と、若くなられました。

これからも運動を続けて、がんばってほしいですね。



いろいろな話を聞きながら



みんなで一緒に

地域の話や行事をはじめ、「これは何?」と感じたことなど気軽にお知らせください。

企画調整課 広報係 ☎0794(35)0356